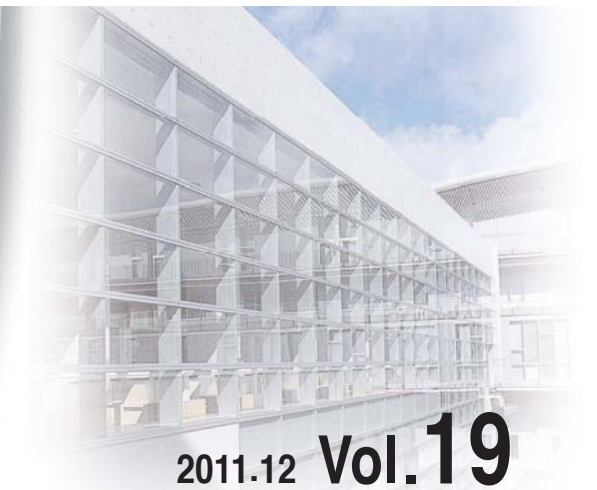


新 知 大 渥

Shizuoka University of Art and Culture Library News



2011.12 Vol.19

平成23年12月発行

発行所 静岡文化芸術大学 図書館・情報センター
〒430-8533 浜松市中区中央二丁目1番1号
TEL (053) 457-6124 FAX (053) 457-6125
<http://www.suac.ac.jp/library/>

Contents

■表紙

『The works of John Ruskin』 — ①

■図書館散歩

極私的読書案内 ————— ②

文化政策学部 芸術文化学科 学科長
谷川 真美

高校時代のながい思い出 — ③

デザイン学部 メディア造形学科 学科長
宮田 圭介

■シリーズ

図書館・情報センターを使いこなそう！

マイライブラリ編 Part4 — ④

■知っていますか？こんなサービス — ⑥



『The works of John Ruskin』 Library edition
London, G. Allen, 1903
[708/R 88/1 ~ 39]

ジョン・ラスキン(John Ruskin 1819.2.8 ~ 1900.12.20)は、イギリスの美術批評家、社会思想家です。彼はスコットランド出身の富裕なワインとシェリーの輸入事業経営者の子としてロンドンで生まれました。主として家庭で清教徒的な厳しい教育を受け、また、こよなく文学や美術を愛する父親に伴われ、幼いときからヨーロッパ諸国を旅行し特に風景美に興味を持つようになりました。7歳から作詩をはじめ、オックスフォード大学在学中には、創作した詩でニューディグイト賞を受賞しています。また、少年時代に『博物学雑誌』に寄稿するなど、鉱物や地層にも関心を示しています。「ラファエル前派」と呼ばれる画家たちを賞揚し、経済的にも擁護するとともに、ゴシック主義の美点を力説して評論を書き、各地で講演を行いました。

ラスキンは、競争原理と利潤追求に狂奔する資本主義社会に対し、中世的なキリスト教社会の復活への夢を描き続け、自己利益でなく自己犠牲を基本とした経済学を説き、新しい社会主義ユートピアを描きました。社会主義の実践活動を続け、労働者のための大学創設にも尽力しました。1870~79年と1883~84年にはオックスフォード大学の美術史教授に就任しています。晩年を過ごした湖水地方のConistonには、現在Ruskin Galleryが建ち、一般公開されています。また、日本にはラスキン研究者である御木本隆三のコレクションを基として開設されたラスキン文庫があります。

本全集は1903年に刊行されました。大正時代には日本国内でも5巻本の『ラスキン叢書』が翻訳刊行されています。



文化政策学部 芸術文化学科 学科長
谷川 真美
Tanigawa Mami

本文中に登場した資料

曲亭馬琴【作】；小池藤五郎【校訂】 『南総里見八犬伝』 [913.56 / Ta 73-4 / 1-10]
滝沢馬琴【著】；後藤丹治【校注】 『椿説弓張月』（日本古典文学大系） [918 / N 77 / 60-61]
トマス・ピンチョン【著】；志村正雄【訳】 『競売ナンバー 49 の叫び』 [933.97 / P 99]
トマス・ピンチョン【著】；小山太一、佐藤良明【訳】 『V.』 [933.7 / P 99 / 1-2]
G・ガルシア＝マルケス【著】；鼓直【訳】 『百年の孤独』 [963 / G 21]
L. ウィトゲンシュタイン【著】；奥雅博【訳】 『論理哲学論考』（ウィトゲンシュタイン全集） [136.95 / W 79 / 1]
L. ウィトゲンシュタイン【著】；藤本隆志【訳】 『哲学探究』（ウィトゲンシュタイン全集） [136.95 / W 79 / 8]
ニーチェ【著】；吉澤傳三郎【訳】 『ツァラトゥストラ』（ニーチェ全集） [134.922 / N 71 / 9]
ウンベルト・エーコ【著】；河島英昭【訳】 『薔薇の名前』 [973 / E 19 / 1-2]
ウンベルト・エーコ【著】；堤康徳【訳】 『パウドリーノ』 [973 / E 19 / 1-2]
Umberto Eco【著】 『How to Travel with a Salmon』 [973 / E 19]
スラヴォイ・ジジエク【著】；山本耕一【訳】 『パララックス・ビュー』 [139.3 / Z 4]
ヴァルター・ベンヤミン【著】；小寺昭次郎【編集・解説】 『ベルリンの幼年時代』 [948.78 / B 35 / 12]
ジル・ドゥルーズ、フェリックス・ガタリ【著】；宇野浩一【ほか訳】 『千のプラトー』 [135.5 / D 55]
ジル・ドゥルーズ【著】；財津理【訳】 『差異と反復』 [135.5 / D 55]

極私的読書案内

大学教員ともなれば読書好きでない人がいるはずもなく、自分が読書好きとは恐れ多くてとてもいえない。とはいえこの原稿を機につらつら自分の読書体験を思い返す。鍵っ子小学生（←死語）のときの密かな趣味は父親の部屋にある「大人の本」を読むことだった。松本清張全集や百科事典（家にワンセット揃えるのが当時の流行だったはず）が放課後の楽しみ。ことに百科事典は楽しくて、字の小さい本や二段組にわくわくするのはどうもこのときの刷り込みらしい。

「本のある部屋」は後に「図書館」に場所をかえつつ、ずっと私にとって喜びと想像に満ちた場所だ。もっとも幼少期一番記憶に残っているのは邱永漢の『西遊記』。豪華本で、当時は文章よりむしろ、美しく艶かしい妖怪たちが天使のような？三蔵法師を誘惑する藤城誠治の挿絵にひかれた（笑）。幸い今これはネット上で全部読むことができる。<http://www.1101.com/saiyuki/>（『ほぼ日刊イトイ新聞』）

推理小説、ファンタジー、SF、子供がはまりそうなものにはすべてはまった。今やポピュラーな「ファンタジー」も翻訳 YA（ヤングアダルト / この言葉も当時は未輸入！）小説が次々出版された高度経済成長期の賜物だが、そんな区分けも知らずただ想像の世界で遊んだ。その延長で古典の伝奇ものにはまる。どのみち想像上のものだから子供には区別などない。最初は翻案もの、抄訳ものなど片っ端から手に取るが、何かが削られている気がして、小 6 のときついに滝沢馬琴『南総里見八犬伝』と『椿説弓張月』に手をつける。原典にひろがる広大な世界に打たれた。下手な SF の比じゃないスペクタクルである。古典は言葉の「音」としての連なりも美しく、「読む」と気分が盛りあがる。同様に、シェイクスピアやミルトンはオリジナルの古めかしい英語が数段楽しいし、詩は声に出して読むもの（まるで少し前に流行った「誰かさん」みたいですが・・・）。

十代の読書体験もうひとつのギフトは翻訳文学、つまり海外文学だろう。自分の書く文章がいつもなんとなく翻訳文体なものそのせいなのか。出版されるものを次々読んでそれ自体が当時の流行そのままだった。そう思うとありがたいのはバブル時代で、売れるとも思えない(?)奇想の書満載。出会った衝撃の小説がピンチョン『競売ナンバー 49 の叫び』と『V.』、ガルシア＝マルケス『百年の孤独』。かたやポストモダン小説、かたや南米の魔術的リアリズムの代表作で、「文学」と「言葉」の可能性を思い知る。これらの作家の作品は今なお強大なパワーを感じさせて凄い。

もともと言語について学びはじめ、その裏（奥？）にある人間の思考に興味を持った。その途上で出会ったレヴィ・ストロースは人間の思考と文化の多様性を示し、考えおよび世界の範囲を格段に広げてくれたが、同時期に出会ったのがウィトゲンシュタインで、チョムスキーなどの言語へのアプローチとは異なる方法を示してくれた。『論理哲学論考』より私の趣味にあったのは『哲学探究』のほうだったから、これは現在への伏線になっているかもしれない。

でも『無人島に持っていく一冊』は、いまのところニーチェ『ツァラトゥストラはこう語った』に尽きる。それまで何度か目を通してはいたが、20代半ばで道に迷い自分の行く先を思い悩んだとき、電車の中で読んでいて雷に打たれたような衝撃があった。それ以来ニーチェは最大のアイドルで、これで私は「人生変えた」のだ。小説とも思想書ともつかないこの作品は、世の中が行き詰ってふたたび注目され、さまざまに解釈されているが、生を受け入れる苦しさや素晴らしさ、強さをこれ以上表現したものはないのである。

記号学者としてより小説家として書棚に入り込んでくるのはウンベルト・エーコで、この人と故木村尚三郎学長は、柔らかな笑みに紛れ、鋭い目がこちらの知性（のなさ）を見通しているようで怖い。『薔薇の名前』には知の喜びと同時に狂気じみた知への欲望が示されて、身につまされつつもうれしい。昨年翻訳が出た『パウドリーノ』も同様。旅行に携える『サーモンと一緒に旅する方法』（How to Travel with a Salmon and Other Essays）は、何度読んでもひとりであつた怪しい女になってしまうが・・・。

以前、米軍兵士が収監中のアラブ系の人々を使ったスキャンダラスな写真や映像が発覚したとき、ゼミで美学・芸術学の視点からこの問題を考えてみたことがあり、充実した議論になった。もちろん複雑な事情が絡んで簡単に結論は出ないのだが、過日スラヴォイ・ジジエク『パララックス・ビュー』を読んで溜飲の下がる思いがした。こういう書物に出会うと絡んだ糸がほどける気がしてしあわせだ。

ベンヤミンやデリダ、ドゥルーズは現代を語る上で必要不可欠だから現代芸術を研究しているとの登場の機会が多いが、いつも異なる発見がある。専門からするとまず『複製技術時代の芸術』なのだろうが、『ベルリンの幼年時代』に書かれた当時のヨーロッパの様子はとても楽しく、ベンヤミンの思考の背景を思いはかるにも興味深い。『千のプラトー』と『差異と反復』は、展示会の企画に関わって論考を書くとき繰り返し読み、改めて感じいった。現代人のありようを考える点でやはりはずせないのではと思う。

なんのことはない。本を欲することも、知識を欲することも要するに「欲望」なのだなあ。「欲深さ」はきりが無い。



デザイン学部 メディア造形学科 学科長

宮田 圭介
Miyata Keisuke

本文中に登場した資料

深沢七郎 [著]

『**橋山節考；笛吹川**』
[918.6 / Sh 61 / 47]

オー・ヘンリー [著]

『**オー・ヘンリー短編集**』
[837.7 / H 52]

D.A. ノーマン [著]；野島久雄 [訳]

『**誰のためのデザイン？：
認知科学者のデザイン原論**』
[501.83 / N96]

小倉昌男 [著]

『**小倉昌男経営学**』
[335.13 / O 26]

小倉昌男 [著]

『**福祉を変える経営：
障害者の月給一万円からの脱出**』
[369.27 / O 26]

城山三郎 [著]

『**落日燃ゆ**』
[913.6 / Sh 89]

城山三郎 [著]

『**花失せては面白からず：
山田教授の生き方・考え方**』
[331.04 / Sh 89]

船曳健夫 [著]

『**大学のエスノグラフィティ**』
[337 / F 88]

小林康夫，船曳健夫 [編]

『**知の技法：東京大学教養学部
「基礎演習」テキスト**』
[002 / Ko 12 / 1]

小林康夫，船曳健夫 [編]

『**新・知の技法**』
[002 / Ko 12 / 2]

高校時代のながい思い出

「図書館散歩」のタイトルを見ると、高校2年で引き受けた図書委員の思い出がよみがえります。古い蔵書が多かったせいか、1週間に数冊しか貸し出しのない、委員にとって張り合いのない場所でした。本を借りに来ない図書館なのに、委員の仕事としては、貸出カウンター業務ほか、「図書文化月報(年5回)」発行、月例読書会、約22,000冊の書架整理、文化祭・体育祭の8ミリカメラ記録撮影!など文化部並の活動が任されていました。仕事の多さに委員は減っていき、9月初めには数名しか集まりません。私は副委員長の立場もあって、毎日我慢して図書室に出入りしましたが、数名で活動を続けることは困難でした。ついに、11月末に委員長達と委員会を解散しようと企画して、司書のT先生の研修不在日に合わせて、臨時委員会を召集しました。当日は、珍しくほぼ全員の図書委員が集まりました。「今から重大な決議を行うぞ」と緊張しながら開会の挨拶を終えたころ、なんと不在のはずのT先生が図書室に入ってきたではありませんか!

私「今日は図書委員会解散の決議を行うために、臨時委員会を行います。」

T先生「そんなばかなこと、あるはずないじゃないの!絶対にダメです!」

問答無用の反論に会議は継続不可能です。全員がすずごと部屋から出ていきました。「何でT先生は今日来たのだろう?クレーターの失敗とはこういうものだろうなあ」と私も落胆しながら帰りました。

本来、こんなばかげたことを企てた委員はくびになるはずなのですが、なぜか翌日から図書室に出入りしていました。しかし、解散しなかったおかげで、後に委員会出身の図書館学教授や芥川賞作家!が生まれたので、今でも自分の愚行(若気の至り?)を恥じております。

さて、肝心の図書紹介ですが、時代ごとに思い出に残る本を挙げてみます。

高校時代は、月例読書会のおかげで、日本の主要小説は一通り読みましたが、一番印象に残っているのは、深沢七郎『橋山節考』です。貧しい時代のうば捨て山伝説をもとにした小説です。豊かな高齢者介護の現代ではブラックユーモアになってしまっていますが、当時の私にとって衝撃的な内容でした。また、『O. Henry 短編集(英語版)』も座右の書でした。「賢者の贈り物」「最後の一葉」などおなじみの小説集ですね。もともと受験の英語力を強化するために買った本でしたが、受験勉強の疲れがいやされる小説が多かったので、浪人時代は何度も読み返したものです。

大学時代は乱読の時代でもありました。人生について考える時期ですので、加藤諦三や小田実、沢木耕太郎など、当時の青年に人気のあった本を読みましたが、意外と印象に残る書物がありません。

会社時代ですと、インタフェースデザインを志す学生には必読の、ドナルド・A・ノーマン『誰のためのデザイン?』がお勧めです。20代後半は建設機械メーカーの研究所で、オペレータが疲れないよう、コックピットを改善する研究に取り組んでおりましたが、機械工学だけでは解決できない限界に悩んでいました。そんな時にこの本に出会い、解決策が見いだせる新たな学問領域であると確信して、この分野で生きていこうと留学するきっかけにもなった書籍です。

また、日本初の宅急便を実現した小倉昌男の著書もお勧めです。『小倉昌男 経営学』は経営コンサルタントの勧めで読みましたが、書物を通して本当に尊敬できる経営者に出会えた感動を味わいました。また、『福祉を変える経営』も福祉に関心ある学生には必読書だと思います。障害者が自分の力で稼いで自立できるよう、事業を興す理論と実践がまとめられていて、本当の福祉とはどうあるべきかが考えさせられます。

本学赴任後は、会社人生を振り返る意味で、経済小説に興味がわいてきました。特にこの分野の先駆者である城山三郎の著書はかなり読みました。私には、元総理、外相であった広田弘毅の生涯をたどった『落日燃ゆ』が一番に残りますが、学生には『花失せては面白からず』をお勧めします。恩師・山田雄三教授との40余年に渡る交流を綴った本です。教員と学生との交流のあり方のひとつの理想的形態として参考になると思います。

同様に、学生と教員との交流を描いた本として、船曳健夫『大学のエスノグラフィティ』が挙げられます。船曳先生がどのような配慮をもって学生達と向き合い、ゼミを運営しているのか、平易に語られています。「よい教員とは」「よい学生とは」を考えていく上で、私のゼミ運営にも参考になっています。また、船曳先生が編纂された『知の技法』『新・知の技法』も、大学でいかに学ぶかを考えていく上で、良い書籍だと思います。

改めて愛読書を整理してみると、無意識のうちに、時代の世相や流行の影響を受けていることが分かります。私と学生達の嗜好が大きく異なることは知りつつも、本稿が書籍を選ぶ際のお役に立てると幸いです。

マイライブラリ編 Part 4 ～マイフォルダに検索結果を保存する～

OPACで検索した結果は、検索を終了すると失われてしまいます。ブックマークして、**マイフォルダ**に検索結果を保存し、あとで利用することができます。さらに、**マイフォルダ**ではタイトルをつけて管理することもできます。

ブックマークする

【Step1】 検索結果で必要とする資料のタイトル前にあるボックスにチェック☑を入れる。

【Step2】 「図書をブックマーク」、「雑誌巻号をブックマーク」、「視聴覚をブックマーク」のボタンをそれぞれ押す。

- 48. **日本**
マーティン・コルカット, マリウス・ジャンゼン, 熊倉功夫著/マーティン・コルカット, 熊倉功夫, 立川健治編・訳 朝倉書店, 1993 (図説世界文化地理大百科).
2階本学教員著作物コーナー 209/Z 81/12
 - 49. **日本の食事文化**
熊倉功夫責任編集 味の素食の文化センター/農山漁村文化協会(発売), 1999 (講座食の文化第2巻).
1階閲覧書架 383.8/Ko 98/2, 2階本学教員著作物コーナー 383.8/Ko 98/2
 - 50. **日本文化のゆくえ: 茶の湯から**
熊倉功夫編 淡交社, 1998.
2階本学教員著作物コーナー 791.04/Ku 33
- ◀ 先頭へ ◀ 前へ 次へ ▶

図書をブックマーク

【Step3】 ブックマークが終わったら、画面右上にある「ブックマーク一覧」を押し、ブックマーク一覧を表示させる。

検索 マイライブラリ **ブックマーク一覧**



ブックマーク一覧

元の画面 >> ブックマーク一覧

ようこそ ●●●●さん ログアウト

検索 マイライブラリ

ブックマークした資料は検索を終了すると失われます。マイフォルダ登録を使うと、これらを保存することができます。

全3件

所蔵

- 1. **日本**
マーティン・コルカット, マリウス・ジャンゼン, 熊倉功夫著/マーティン・コルカット, 熊倉功夫, 立川健治編・訳 朝倉書店, 1993 (図説世界文化地理大百科).
- 2. **日本の食事文化**
熊倉功夫責任編集 味の素食の文化センター/農山漁村文化協会(発売), 1999 (講座食の文化第2巻).
- 3. **日本文化のゆくえ: 茶の湯から**
熊倉功夫編 淡交社, 1998.

すべてを選択 選択を解除 - 資料に対する操作の選択 - 実行

所在にチェック☑して「表示」を押すと現在の所蔵状況が表示されます。

ページトップ

元の画面 >> ブックマーク一覧

検索 マイライブラリ

マイフォルダに登録する

【Step4】 登録したい資料のタイトル前のチェックボックスにチェック☑を入れる。

【Step5】 下方にある「資料に対する操作の選択」から「マイフォルダへ登録」を選び、実行する。

ブックマーク一覧

元の画面 >> ブックマーク一覧

ブックマークした資料は検索を終了すると失われます。マイフォルダ登録を使うと、これらを保存することができます。

全3件

- 日本
マーティン・コルカット, マリウス・ジャンセン, 熊倉功夫著/マーティン・コルカット, 熊倉功夫, 立川健治編・訳 朝倉書店, 1993 (図説世界文化地理大百科).
- 日本の食事文化
熊倉功夫責任編集 味の素食の文化センター/農山漁村文化協会(発売), 1999 (講座食の文化第2巻).
- 日本文化のゆくえ: 茶の湯から
熊倉功夫編 淡交社, 1998.

すべてを選択 選択を解除

資料に対する操作の選択

- 資料に対する操作の選択 -
- ブックマークから削除
- マイフォルダへ登録
- ファイル出力
- メールで送信

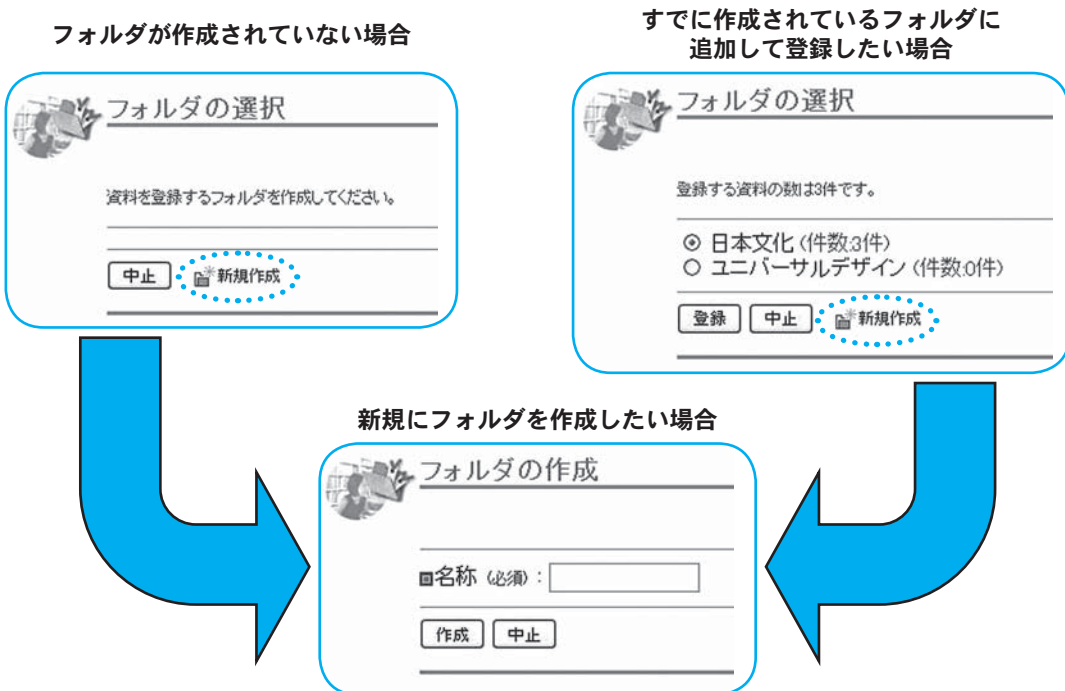
実行

ページトップ

元の画面 >> ブックマーク一覧

【Step6】 新規にフォルダを作成する場合は「新規作成」を押すとフォルダの作成ができるので、「名称」にタイトルを入力し、「作成」を押す。

すでに作成されているフォルダに追加して登録したい場合は、フォルダを選択し「登録」を押す。フォルダに登録された後は「ブックマーク一覧」に戻る。



フォルダに登録された資料は、「マイライブラリ」の「マイフォルダ」から見ることができます。

知っていますか？こんなサービス

相互利用サービス (Inter Library Loan : ILL)

探している文献が図書館・情報センターで見つからないとき、そのままあきらめてしまってはいませんか？そんなときは、図書館・情報センターを通じて他大学の図書館や国立国会図書館から文献を取り寄せるサービスがあります。それが、相互利用サービス(ILL)です。相互利用サービスでできることは、**文献の複写依頼・図書の貸借・他大学図書館等の直接利用**です。

●文献の複写依頼

図書館・情報センターを通じて、他の図書館等に文献複写の依頼を行うことができます。CiNii 等からの論文等の情報を印刷したものか、論文等の情報が掲載された資料のコピーを持参して、カウンターに備えてある「学外図書館資料利用申込書」に必要事項を記入してください。なお、複写物が届くまで1～2週間程度かかります。複写料金、郵送料は**利用者負担**となります。

●図書の貸借

国立国会図書館をはじめ、一部の大学図書館で資料を借用できる場合があります(但し、借り受けた資料を館外へ持ち出すことはできません)。Webcat Plus などから必要な資料の書誌情報を印刷したものか情報が掲載された資料のコピーを持参して、カウンターにある「学外図書館利用申込書」に必要事項を記入してください。図書の借用は、郵送料が**利用者負担**となります。

●他大学図書館等の直接利用

資料を取り寄せないで、直接他大学の図書館を訪問して利用するには、本学図書館・情報センター長発行の紹介状と学生証が必要です。ただし、紹介状は即日発行ができないのでご注意ください。なお、静岡県西部地域の大学と東海4県(静岡県・愛知県・岐阜県・三重県)の多くの大学は、学生証を提示すれば紹介状は必要ありません。

・紹介状が必要な場合

主に東海地域以外にある大学図書館です。訪問先が決まったら、カウンターへご相談ください。カウンターにある「他大学図書館等利用紹介状申込書」に必要事項を記入していただき、図書館・情報センター長の承認を経て発行されます。申込から発行まで2～3日かかります。訪問する際には、紹介状と学生証をお持ちください。

・紹介状が不要な場合

静岡県西部高等教育ネットワーク加盟大学(静岡県西部地域の大学)の図書館、東海地区大学図書館協議会加盟館は、学生証を提示すれば紹介状は必要ありません。訪問する際には、訪問先の開館日や利用案内をホームページ等で確認した上で利用してください。不明な点があれば、カウンターでご相談ください。

《訪問先での注意》

利用の際には、訪問先の他大学図書館の利用規程等を遵守してください。

※学外利用者の申込は受け付けませんので、ご了承ください。

ユニバーサルデザイン絵本コンクール 2011 作品募集

「ユニバーサルデザイン」について考えてみませんか？

すべての人が絵本を楽しめることをめざして、あなたの作品を待っています。

ユニバーサルデザインを

理念の一つとしている静岡文化芸術大学では

いろいろな立場の人が共に楽しむことのできる、

ユニバーサルデザインの考え方を取り込んだ絵本を募集します。

身体的、知的特性や年齢、文化などを超えて

一緒に楽しむことのできる絵本を期待しています。

形、構成、素材などにとらわれることなく

自由な発想で絵本をつくってみてください。

なお応募いただいた絵本は、多くの人に見ていただくために

本学はじめ複数の施設で展示いたします。

応募締切：2012年1月10日(火)(当日消印有効)

応募資格：子ども部門(中学生以下)・高校生部門・大学生部門

応募方法：作品に応募票をそえて、送付してください。

※応募票は以下のURLからダウンロードできます。

<http://www.suac.ac.jp/news/topics/878.html>

応募先・問い合わせ先

〒430-8533 静岡県浜松市中区中央2-1-1

静岡文化芸術大学 絵本コンクール事務局

(担当 林左和子)

TEL・FAX：053-457-6178 E-mail：ehon@suac.ac.jp

※お問い合わせはなるべくメールをお願いします。